

女子チアと共演

男子のチアリーディングを見るのは初めて。えんぎはすごかったよくてびっくりしました。ほぼみんな、かみを青、赤、黄、緑にそめていました。一番すごいなあと思ったのは、女子と男子がいっしょにえんぎをしていたところです。高校生までサッカー部やテニス部だった人が多かったです。

(小4 / 大迫輝)

空中でジャンプ

ステージを見た時、女子のチアとちがいがとてもはくりょくがありました。ステージで空中でジャンプするところが、すごかったです。私はダンスをやっているの、SHOCKERSのようにあきらめないでさいごまでやりぬくようになりたいです。また、自分たちの力で人を動かすのがとてもすてきなと思いました。私もそういう人になりたいです。

(小4 / 寺島こと子)



ダイナミックなパフォーマンスを披露するSHOCKERSのメンバー
SHOCKERS提供

オリンピック1年前イベント

早稲田大 SHOCKERS

男子チア 迫力満点

早稲田大学の男子チアリーディングチームSHOCKERS（ショッカーズ）によるオリンピック1年前イベント「SHOCKERS FESTIVAL2019」が8月11日、文京シビックホール大ホールで開かれました。この日はオリンピック・パラリンピック要素を盛り込んだ12構成（演技）が披露されました。



演じる時は笑顔でSHOCKERS提供

SHOCKERS

早稲田大学男子チアリーディングチーム。2004年、第一文学部の学生だった狩野洋平さんがメンバー6人で創設。ネーミングには「男性だけのパワフルなチアダンスで衝撃を与えたい」という気持ちを込めたという。

今秋まで副代表を務めた3年の岡村希一さんによると、2019年のシーズンは選手50人、マネジャー7人の計57人で活動した。例年、米国開催を含むチアリーディングの大会に年2回出場。今年は本場米国でも長い歴史のある大会「National Cheerleaders Association (NCA)」に日本からも男子としても唯一、参加した。



メンバーと写真におさまるこども記者

高校では帰宅部？

ステージではさまざまな技を出していましたが、ステージ後、「シヨカネム、カトリーナさん、せみさん、モロッコさん、ドリモゲモンさんの4人に取材をしました。ステージ上では運動がとても得意そうに見えましたが、高校生の頃には帰宅部だったという人もいました。かっこよかったから入ったそうです。練習時間は1日4時間、週4日のほかに、土日はイベント、そして自主練をしていると言っていました。

(小6 / 内田里音)

映像を使い物語に

SHOCKERSは男性だけのチームです。そのため男性ならではの技を見せられるところが魅力です。印象に残っているのは、宙に人が投げられるところ。力を使った演技でかっこよかったです。他に心に残ったのは、映像を使って見ている人をあきさせないところです。技を披露するだけでなく、物語にすることで、とても楽しく、集中して見ることができました。私も人に印象を与えられるよう頑張りたいです。

(中2 / 安藤万博)

海外で「いいね」

本番は男子のチアにしかない迫力があり、夢中で見入りました。終了後、SHOCKERSの方にお話を伺いました。海外の大会ではいろいろな国のたくさんのチームがエントリーしていたけれど、男子のチームはSHOCKERSだけだったそうです。でも男子のチアの迫力や魅力をいいねと言ってもらったことが良かったと話していました。

(小6 / 井上晴賀)